

MCS とは・・・

M atsumoto city (松本市)

C itizens activity (市民活動)

S upport center (サポートセンター) の略です。



松本市市民活動

サポートセンター通信 (仮称)

MCS

サポートセンター今秋 OPEN



当日のオープニングセレモニーの様様。正面は菅谷昭市長。

市長からは、「この施設の利用方法は、市民の皆さんとの協働で決定しました。幅広い市民活動をサポートし、大勢の方が集い、交流する施設になることを期待します。」とあいさつがありました。

市民が集うスペースが誕生!

市民の皆さん、はじめまして。

松本市市民活動サポートセンターは、去る9月22日、松本市役所大手事務所2階に開所したばかりの施設です。

当センターは、松本市が設置した、市民活動を支援・促進するための場所です。

いま、様々な分野で進む市民活動。そうした活動の場の提供や、活動支援などを行います。産声をあげたばかりの当センターですが、みなさんの活動拠点となり、人と人との出会いから新しい道ができていくような、そんな場所を目指してまいりま

センター発 イベントのお知らせ

MCS イベント情報

松本市内大学連携懇話会

日時：2005(平成17)年 12月21日 (水)

午後7時30分 ~ 午後9時

場所：松本市市民活動サポートセンター (相談室)

コーディネーター：白戸 洋氏

松本大学助教授

専門：地域開発、NPO

参加予定大学：信州大学、松本歯科大学、松本短期大学、松本大学、松本大学松商短期大学部 (五十音順)

各大学のボランティアサークル及び市民活動団体支援組織の方々にご参加いただき、行政と松本市内の大学、そして市民との連携について意見交換をしていただく予定です。信州大学及び松本大学のボランティアサークルの活動事例発表、今後のMCSを拠点とした活動についての意見交換等も予定しております。

MCS イベント情報

松本市NPO法人情報交換会+助成金・補助金学習会

日時：2006(平成18)年 1月11日 (水)

午後7時 ~ 午後9時

場所：松本市市民活動サポートセンター (フリースペース)

講師：黒沢正行氏

株式会社 MKコンサルティング代表取締役

講師：長野県コモンズ・地域政策チーム出前講座

松本市内に活動拠点を置く特定非営利活動法人(NPO法人)の皆様にお集まりいただき、ネットワーク拡大のための情報交換をしていただくと同時に、今後のMCSの活用についての意見交換、名刺交換会等も予定しております。



サポートセンターってどんなところ？

目的 『市民活動・協働の場』

市民活動は、なんといっても“市民が主役”。

当センターは、活動支援・促進を通して、市民協働を推進するための拠り所となることを目指します。

具体的には、市民活動の機会と場を提供し、活動支援、交流促進、インキュベート（立ち上げ）支援、情報の収集・提供などを図る場となります。

センターの機能

- ①活動拠点 市民活動の拠りどころ。
- ②コーディネート機能 市民・市民活動団体・行政間など、活動主体間の協働のコーディネート。
- ③交流・ネットワーク機能 市民・企業・大学・学校・行政の連携及び交流・ネットワークの推進。
- ④情報の収集・提供機能 NPO、ボランティアなどの市民活動や、行政・企業・支援団体及び人材等に関する情報の収集・提供。
- ⑤調査・研究機能 市民活動全般及び先進的な取組み等の調査。
- ⑥教育・研修機能 市民活動団体及び人材の育成。活動活性化のための能力開発。市民活動に関わる講習会・講演会・勉強会などの実施。
- ⑦広報・啓発機能 各種市民活動などの認識や理解を深めるための広報・啓発活動。機関誌の発行。センターホームページの開設。
- ⑧相談機能 市民活動の立ち上げ・運営や、ボランティア活動などに関する相談。
- ⑨指針の具現化 「市民と行政の協働推進のための基本指針」に基づき、協働の推進策を具体的に実行する。（→松本市の協働指針は、以下のURLから御覧になれます。
<http://www.city.matsumoto.nagano.jp/tiiki/kyoudou/kyoudoukihonsisin/index.html>)
- ⑩その他 コミュニティ・ビジネスの創出と活動の促進。

施設のご案内

フリースペース

4人掛けテーブルが6セットあり、少人数の打合せや軽作業に使用できます。空間を自由に使えますので、各種イベントや、講演会にも最適です。

相談室(会議室)

個室となっております、最大30名まで使用できます。会議や研修会、勉強会などに最適です。

キッズコーナー

お子様を遊ばせながらの打合せなどに。アクションジムがございます。

作業スペース

印刷機・紙折り機・裁断機などがあり、印刷や資料の作成に、ご使用いただけます。

レターケース

団体・会員間の連絡のために。また、チラシの保管にもご利用ください。

情報コーナー

パソコンが2台あり、インターネットが閲覧できます。また、松本市内にあるNPO等の市民活動情報も閲覧できます。

情報掲示板

団体の募集情報や、イベント告知ポスターなどを掲示することができます。(持ち込み大歓迎)

パンフレットスタンド

パンフレットやチラシの持ち込みが可能です。活動のPRなどにご利用ください。

マルチボックス

扉なしのボックスで、作業スペースに9個、情報コーナーに30個あります。団体の資料などを置くことができます。

MCSCalendar

2006/01

Matsumoto city Citizens activity Support center

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
① closed	② closed	③ closed	4	5	6	7
8	9	10	⑪ イベント	12	13	14
15	⑫ closed	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	-	-	-	-

2006/02

Matsumoto city Citizens activity Support center

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
-	-	-	1	2	3	4
5	⑥ closed	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	⑳ closed	21	22	23	24	25
26	27	28	-	-	-	-



ボランティアセンターだより

* サポートセンターにボランティアコーディネーター！

毎週火・金曜日午前10時から午後7時まで、サポートセンター内に、松本市社会福祉協議会からVコーディネーターが駐在します。ボランティアについてのさまざまな相談や情報をお待ちしています。夕方7時までOK。学校の帰りや、お勤め帰りにも、気軽にお立ち寄りください。また、毎週水曜日の午後2時から5時は福祉アドバイザーが相談をお受けします。どうぞご利用ください。

=お知らせ=

災害救援ボランティアセンター立ち上げ訓練実施

12月17日(土) 午前10時～2時45分 総合社会福祉センター他



災害救援ボランティアセンターってなあに？

大規模災害が発生すると、近隣の市町村をはじめ、県外からも救援や支援のためのボランティアさんがたくさん集まってきます。資格や専門知識を持っている方や技能を生かしたり、急を要したり人手の欲しい所へ効率よくボランティア派遣をするためのセンターです。

どんな訓練をするの？

まず、災害の被災地の様子について話を聞きます。その後、災害が発生し、ボランティアに来る人センターで受付をしたり説明をする人、被災地から出て来るニーズなどを想定し、センターの運営を実演してみます。スムーズにたくさんのボランティアを動かすための訓練です。

ボランティア役や、スタッフになってみませんか？ 関心のある方はぜひお出かけください。

お問い合わせ等は・・・ 松本市社会福祉協議会地域福祉課 ボランティアセンター

TEL 25-7311まで

=ボランティア大募集コーナー=

運転ボランティア

心身に障害をお持ちの方や高齢者の方が通院などで出かける際に、送迎していただける運転ボランティアさんを募集しています。ボランティアセンターに登録していただき、依頼が来た時にこちらから都合を伺わせていただきます。運転が好きで、福祉活動に理解のある方、よろしく願いいたします。

芸能ボランティア

デイサービスや、高齢者施設では・・・楽器の演奏、歌、踊り、語りや手品などお願いできる人を探しています。個人でもグループでもOK。時間などについては相談します。日頃の練習の成果を披露していただけませんか？

みなさまのご協力お待ちしております！！

連絡先 TEL 25-7311



ほぼ笑みのコンサート開催



11月6日に当センターで行われた、オープン記念コンサート。当日は約60名の参加があり、出演者 雅音人(がねっと)の織りなす、つよく、優しく、包み込むような歌に耳を傾けながら、ゆったりとした時間を過ごしました。参加された50代男性からは「誰もが気軽に立ち寄ることができる場所ができて良かった。地元こんな方(雅音人)がいたことは知らなかった。歌も心も癒されるものだったので、また来て欲しい。」との感想をいただきました。

スタッフ紹介

ひとこと ★センター紹介のホームページ作り  をやっています。できるだけシンプルに、そして目的地へたどり着きやすいことが目標です。(カロワ) ★機関誌作成担当です。走りながら考える毎日ですが、市民の皆さんのたまり場にしてもらえるようなセンターを目指して頑張ります!(もく) 

★実年齢に精神年齢がついてきません(><)むしろ反比例してゆく日々。に喝! するため毎日が勉強と夢中で過ごしております(山⇄街のねこ)  ★意見を行動に変える方程式を考えます。(クロ) 

★夜間はサポートセンターにいらっしゃる  方も少なく、ネットの情報を収集しています。

夜間の利用者も増やしたいです。(凜)  ★MCSは”市民が主役”のまちづくりを進める

ため市民活動を支援・促進し、市民協働を推進するための拠り所です。がんばります。(ドニーチョ) 

雅音人 ヴォーカルTamikoさんにインタビュー!

Q1: 市民活動サポートセンターの印象は? Tamikoさん(以下T)
「まさに私たちの活動主旨に合った場所ができたと思います。オープニングコンサートを機に、私たちもここからまた頑張っていこうという気持ちになれる場所です。」

Q2: 活動を始めたきっかけは? T: 「環境に興味を持ったことがきっかけで、ラブ・アース・ネットワークという組織を立ち上げました。そして「心が変わらなければ行動も変わらない」を合言葉に、99年にパートナー辻喬之(つじたかし)さんと共に、音楽を通じて「心」を伝える活動をはじめました。」

Q3: 雅音人オススメの一曲 T: タイトル「わが子へ」
「高知県在住の小松成江さん御一家がNHKの取材を受け、TV放映された番組を見たとき、障害を持ったお子さんたちと共に家族が支え合い、生きている、その姿に胸を打たれました。そこで、ぜひ成江さんの作った「わが子へ」という曲をCD化したいなという思いから、できた曲です。手話を交えながら、歌っています。」

センターのボランティア大募集!!

MCSを応援してくれるボランティアを募集します。買い物にきたけどちょっと時間が空いた・・仕事帰りに寄ってみようかな・・そんなときは是非一度、足を運んでください。

お問い合わせはTEL 88-2988まで。

発行: 松本市市民活動サポートセンター
〒390-0874 松本市大手3-8-13
松本市役所大手事務所2階
TEL・FAX 0263-88-2988
E-mail suport@po.mcci.or.jp

発行日: 平成17年12月1日 創刊号

編集: 松本市市民活動サポートセンター